

# 自転車国内販売動向調査月報ダイジェスト(平成23年6月)

当協会では、毎月全国100の標準自転車小売店を対象に、自転車の販売に関するアンケート調査を実施し、「自転車販売動向調査月報」としてとりまとめ発表しております。

平成23年6月の調査がまとまりましたのでその概況をお知らせします。なお詳しくは月報をご参照ください。

## ◎調査店1店当たりの販売台数

本月の新車販売の合計は16.4台で、前年同月と同じであった。車種別の前年同月比は、ホーム車103.0%、マウンテンバイク120.0%、スポーツ車104.3%が上回り、折りたたみ車、幼児車、電動アシスト車が100.0%と横ばい、シティ車93.8%、子供車84.6%は下回った。また前月比では、ホーム車103.0%が上回り、折りたたみ車が横ばい、そのほかの車種は下回った。

中古車も前年同月87.0%と下回っている。

## ◎自店や他店の動向など調査店から寄せられたコメント

各店舗から寄せられるコメントは天候に関するものが多く、「梅雨との戦い。お天気商売の自転車屋は気温20～25℃、無風で曇りか晴れが絶対条件。1日でも多くこんな日を望む」(千葉)、「売上げの伸びは期待できない。がんばらないといけないと思うが、なかなかうまくいかない。暑さが厳しくなるし商売の方も厳しい状態が続くと思う」(福井)、「雨の多い本当に梅雨らしい1ヵ月でした。ここ2年ほどスポーツ車関連の売上げが安定してきたとはいえ、やはり天気の影響でよくはありませんでした」(大分)など自転車の売上げは良くなかったようだが、「修理も全体的には多いとは言い難いが、タイヤ・チューブ交換が前年同月を上まわったことはよい兆候だった。7～9月はタッチ交換の増加が見込める時期。そちらの在庫確保に対し、優先的に投資を行いたい」(東京)、「6月に入り少し動きが悪くなりましたが、修理などはたくさんありました」(京都)、「修理と中古車の販売が多く、新車売上げは最低でした。特に電動アシスト車が悪い」(滋賀)など修理は天候に影響はなさそうである。

また、「やっと自転車に乗る気になって来店してくれたお客様が多かったが、売りたいメーカーにも在庫がないという状態…(特にスポーツ車)」(北海道)、「売れ筋の完成車が完売になっていることが多く、来年度の入荷待ちになるケースも多い。しかしお客様はすぐにほしいので当方も困っている」(熊本)などのように相変わらずメーカーに在庫がなく販売に苦慮している状態が続いているようだ。

調査店1店当たりの販売台数(総合)

[全国9地域 店舗:100]

(平成23年6月)

[単位:台 構成比:%]

車種別	本 月		前 月		前月比	前年同月		前年同月比
	台数	構成比	台数	構成比		台数	構成比	
シティ車	3.0	16.3	3.6	17.9	83.3	3.2	17.1	93.8
ホーム車	6.9	37.5	6.7	33.3	103.0	6.7	35.8	103.0
折りたたみ車	0.6	3.3	0.6	3.0	100.0	0.6	3.2	100.0
子供車	1.1	6.0	1.6	8.0	68.8	1.3	7.0	84.6
幼児車	0.5	2.7	0.7	3.5	71.4	0.5	2.7	100.0
マウンテンバイク	0.6	3.3	0.7	3.5	85.7	0.5	2.7	120.0
スポーツ車	2.4	13.0	2.8	13.9	85.7	2.3	12.3	104.3
電動アシスト車	1.3	7.1	1.4	7.0	92.9	1.3	7.0	100.0
合 計	16.4	89.1	17.9	89.1	91.6	16.4	87.7	100.0
中古車	2.0	10.9	2.2	10.9	90.9	2.3	12.3	87.0
総合計	18.4	100.0	20.1	100.0	91.5	18.7	100.0	98.4
モーターバイク	0.5	2.7	0.5	2.5	100.0	0.5	2.7	100.0

注:モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。

次回7月の販売動向調査結果は8月末にHP掲載の予定。

財団法人 自転車産業振興協会